

大山登山マラソン 2019

2019年3月10日

3月も中旬となり、朝晩は冷え込むものの、日中の日差しはすっかり暖かくなり、もうすぐ桜の開花の便りが舞い込む季節となりました。

さて、大山に春を告げる恒例の大山登山マラソンも、今年も34回を数えて開催され、北は北海道から南は宮崎までの全国各地から、また年齢も下は高校生から上は91歳までの老若男女2,700人が、早春の大山街道を駆け上りました。

また、天気予報では午後から雨マークでしたが見事に外れ、歓迎イベントが開かれた龍神通りでは行きかうランナーたちで賑わいました。



今年のゲストランナー6人と友情出演の俳優の永井大さん、招待選手の村上康則さんにクルリンをプレゼント。

開会式の合間にハイポーズ！！

往年の名選手の皆さん達も、クルリンに癒されにっこりします。



号砲一発、午前10時伊勢原駅北口を男子50歳代、60歳以上の皆さんが、標高差 600m以上の大山阿夫利神社下社のゴールを目指してスタートしました。

ここから 1km先の国道 246 号線の横断は、先頭通過から5分以内に通過しないと通常信号に切り替わるため、必死で前に続きます。



30分ごとに年代別にスタートして、最後は11時に一番若い男子29歳以下と30歳代がスタートしました。

やはり若くて元気なため、スタートダッシュも一番です。

ひたすら上り坂の最後は1600段の石段が待ち受ける過酷なコースですが、ランナーの皆さんは誰もが楽しそうに走っていきました。



駅から集合地点の伊勢原小学校へ向かう龍神通りでは、こちらは第17回を迎えた歓迎イベントが開催されます。

主催の駅前中央商店会の役員とクルリンです。

走り終えた選手は自分の記録表を手に、毎年お馴染みの店でレースを振り返ります。



これもイベント開会式恒例の鏡割りです。

もちろんランナーの皆さんにも振る舞われます。

こうした街をあげてのおもてなしと沿道からの暖かい応援は、毎年高い評価をいただき、コースは厳しく過酷だけれども、不思議と毎年出たくなる大会だと言われております。

ランナーの皆さま、来年も是非ご参加をお待ちしております！！